



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol.39 No.2387

■2011～2012年度RIテーマ：

こころの中を見つめよう、 博愛を広げるために

2011～2012年度RI会長 カルヤン・バネルジー



新日地域交流施設
「和が舎」

画/百瀬達夫

■2011～2012年度士別RCテーマ：

人と人を思いやる 心をもって前進しよう

■例会場/士別グランドホテル

■例会日/毎週月曜日 12:10～13:10

■事務所/士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234

■会長/渡辺正一 ■副会長/藤吉敏博

■幹事/伊藤優市

今日のプログラム 第2469回例会 2012年5月28日(月)

■ 5月21日の記録 ■

- 司会 高山 稔 会場監督
- 斉唱 奉仕の理想
- 本日の出席 会員51名中 出席者37名 出席率72.55% 修正74.50%
- 本日の欠席 阿達 勇、今井 裕、加藤 博、近藤峯世、佐藤和彦、田中 全、
深尾幸夫、福島栄三、松塚信雄、興水広志、松永光司、黒田康敬、
汐川泰晴、坂野虎溪

- メイクアップ
- ビジター
- ゲスト
- ニコニコBOX

累計299,000円

例会予定

■5月の予定

- 5月7日(月)/例会、理事会
- 5月14日(月)/例会
- 5月21日(月)/例会
- 5月28日(月)/夜間例会

■6月の予定 《ロータリー親睦活動月間》

- 6月4日(月)/例会・理事会
- 6月11日(月)/特別休会
- 6月18日(月)/例会
- 6月25日(月)/夜間例会

■会務報告……………渡辺正一会長

●本日の例会の卓話は会員の鈴木 勉様が経営に携わっている「かしの木」の介護、看護対策、将来の展望を聞かされて共鳴された事と思います。第一に家族を大事にすることに理由がある場合、老人ホームが家族に代わってお手伝いをするのが基本である。たぬきや食堂の食事風景を写真で見ました。女の手1人で店を築き上げた阿部てるさんもさぞ涙が出る程うれしかったのではないのでしょうか。ある日、息子さん夫婦が私に「かしの木」にお世話になっていて良くしてくれるので助かっていますと涙を流して云っていました。老人ホームに入所されている方々にも笑顔が一杯広がっていましたね。施設は100人入所の老人ホームは99人にならないと入所出来ません(1人死亡)。いかに大変な社会なのだろうか。私にも95才の母親がいます。1日でも長生きしてほしいと思います。

5月20日、10時から土別わんぱくフェスティバルが市の総合体育館前で行われ、私もロータリークラブを代表して子供の代表にステージで金一封を手渡し挨拶をしました。皆さん方は将来土別を住みよい街づくりしてくれる方々ばかりです。また、皆さんが大きくなったら世界にはたくさんの子供が病気にかかり幼い命を失っています。どうかふる里で育った土別を離れず一步後退、二歩前進して夢の扉を開き実現して下さい。アトラクションでは当クラブの会員、谷さんの土別幼稚園児の踊りパラバルーンに園長も輪に加わり、谷会員はまるで小学生か中学生のように軽快な動きに感動致しました。良き指導者の下で園児を預かっている親、兄弟も喜んでいました。素晴らしい事してくれる会員です。今後も社会の為にも頑張ってください

■幹事報告……………伊藤優市幹事

- 6月4日第1例会ですが、文書にてご案内致しましたが例会時間を変更して開催致します。詳しくは委員会報告で北村委員長の方から報告がありますのでご了承下さい。
- 6月10日に美深で開催されますIMのスケジュール表を配布させて頂きました。宜しくお願い致します。
- 土別市自衛隊後援会、定期総会の案内が届いてお

ります。6月1日(金)午後5時、場所は土別グランドホテルです。渡辺会長が出席の予定です。

- 使用済み切手、未使用ハガキを坂口社会奉仕委員長、伊藤幹事と共に社会福祉協議会へ本日お届けしたいと思っております。
- 下川ロータリークラブより例会案内並びに会報が届いております。資料台に置いて有りますので御覧下さい。

■委員会報告

- 職業奉仕委員会……………北村浩史委員長
職業奉仕とロータリーの創立50周年の事業の2つを合わせて、6月4日の例会に行うことになりました。職業奉仕関連ですが、職場訪問ということで6月4日にあいの実保育園を訪問します。担当者と打ち合わせをしたのですが、保育園ですので子供達は正午からお昼寝をするそうです。ロータリーの例会が終わったあとに職場訪問をしても園内は真っ暗なので見学することも出来ないし、子供達も寝ているので起こす訳にもいかないの、時間を早くして午前11時30分にこちらに来て頂きまして、案内には車でとっていますが、駐車場が狭いので出来れば徒歩であいの実保育園に向かいたいと思います。保育園では市の担当者の説明を受けまして施設内を見学させて頂きます。見学が終わりましたら50周年記念ということで、3年越しぐらいになりますが、遊具の贈呈式を行うことになっています。市では牧野市長が正午に訪れて前々会長の大野会長に市長から感謝状をという形になると思います。贈呈式が終わりましたらこちらに戻り、通常例会を行う日程ですので宜しくお願い致します。

- プログラム委員会……………山本俊一委員長
本日の会員卓話は(株)かしの木介護サービス代表取締役の鈴木 勉様です。宜しくお願い致します。

■次年度報告……………泉谷 勇次年度幹事

- 5月27日(日)に地区の会員増強セミナーが北見で開催されます。尾崎会長、私、神田会員、佐藤元信会員の4名で行って参ります。
- 委員会の年間活動計画書が18日に締め切らせて頂いたんですが、若干名こられていない委員長さん

がおられます。今校正に入っていますので次年度の委員会をそれを元に開くことになっておりますので、今日明日中に私の方にFAXをお願い致します。

■卓 話……………鈴木 勉会員



介護につきましては熱く語ると1、2時間の時間が必要となりますので、今日のはしの木の立ち上げの段階からの私の想いを含めて今日に至るまでの経過を説明させて頂き、DVDを用意しております。それは第2棟目のよしの木の年間の活動状況をピックアップしたもの約12、3位かと思いますが、簡単にご説明をさせて頂きたいと思います。

何故私が介護に手を染めたかと言いますと、私の実の姉が昭和64年、先代が亡くなった年に市立病院の看護師だったのですが、そこで倒れ職務中に脳梗塞を患いまして市立病院の懸命なる治療を頂いたんですが、残念ながら下半身不随という結果となりました。その後4年くらい市立病院で勤務をさせて頂きましたが、その間2度に亘る転倒事故を起こしまして、大腿骨骨折、左足の皿を粉碎骨折をするなど2度手術を受けました。しかし十分回復傾向が見られないということもあり、私と姉が相談し病院を円満退職しました。その後私共の自宅の横に離れを立て姉と共に暮らす生活が続いておりました。その後の経過を推移しながらやはり年々身体が衰えていき、その後の介護をどうしようかと。私と致しましては家庭に母親もおり、当然私の女房の実家も年寄りがいるということで、どうしても女房に迷惑がかかるという思いが募り募った矢先、旭川にファミリーハウス漣というのがあり、お年寄りのケアハウスをやっているんですが、そこにいる高木と平成15年に出会いました。ときたま感慨とするところがお互い共通点が多いということで、彼の強い意志もあり、特に士別は老人ケアも大変遅れている、民間参入が遅れているということもあり、その後平成17年まで約3年間この思いを温めまして、旭川の高砂台に高木の経営しておりますファミリーハウス漣に5号館、

入居が14部屋でこれを私が建てまして、今現在も高木のところに建てておりますが、そこに職員を2名雇用致しまして研修のために派遣をさせて頂きました。約1年間職員と共に私も日々時間のある時はそちらに通わせて頂き、ケアハウスを立ち上げる準備をさせて頂きました。平成18年にいよいよこの想いを形にしようということで、鈴木建設に準備委員会を立ち上げ、まずは想いを形にしていく。皆さんのお手元にプリントがいろいろ積み重ねながら職員の採用を踏まえて、最終的にはネーミングをどうしましょうかと、ときたま私鈴木ですから木が付くのがいいかと、市長さんをやらせておりました檜木さんと懇意にさせて頂いておりましたので檜木さんの自宅に駆けつけかしの木というペンネームをお借りしたいということで、檜木さんの了解を得てかしの木という名前を付けさせて頂きました。平成18年の10月にオープンということになった訳ですが、この経過に至るまで時の流れに付きましては皆さんのプリントの中にあるかと思いますが、介護に当たりましては「団塊世代」皆さんよく耳にする言葉だと思いますが、1947年から1949年の3年間に生まれた人々が最も多い集団、つまり団塊世代という言葉になっておりますが、この人達が65歳になりきる2015年には65歳以上の人口が大きく膨らむという流れの中で、2002年、総計約2362万人、更には2015年あと3年ぐらいいですか、それが3277万人へとつまり38.7%、わが国の高齢化率は26%に達する、つまり4人に1人がもう高齢化、「老人」になりますという社会傾向になっております。士別につきましてはどうかというと、立ち上げました当時の資料、中に添付させて頂いておりますが、人口統計につきましては昭和30年をピークに致しまして人口はどんどん減少しております。しかし、65歳以上の高齢者人口というのは2倍に増加し、これは18年度の資料ですが4人に1人が高齢者になっている、平成19年には高齢化率は29%、現在につきましては30%を超えるという状況になっております。これを踏まえて介護保険制度というのが始まりまして、士別市に於いても要介護認定者、介護サービスを受けられる利用者というのはどんどん増加しており、その方々に対して一定のサービスが供給されなけ

ればならない。また各介護サービスに於きましては訪問介護や福祉用具貸与、そういった方々含めて高齢化が進む中でこういった利用者は入れて頂ける施設というのは現況では足りなかった、今現在では皆さん知っての通りここ2、3年でどんどん増えており、決して100%とはなっておりませんが、現実問題としては地元で介護サービスを増やそうとした場合はそれをサポートする介護職員等が不足をきたしている、現実私共もそうですが日々ハローワークの求人票を見て頂ければわかると思うんですが、なかなか我々の職場というのは定着しないものですから、そういった部分では大変厳しい環境にある。これから介護というのは非常に事業として成り立つ良い職業だと見られがちですが、現実的にはそんなに甘くない。ここに神田先生がおりますが経理をお願いしておりますが、赤字です。何故かという介護というのは平均介護度数が3～3以上ないとなかなか経営をしているのは難しい。現実手前どもの事業所はどうかという健全者も入れるんです。健全者も身体でも痴呆でも良いということになっておりますので、今健全者は3名程入っております。例えて言えば老人ホームと同じです。それには要支援というのが、介護ではなく要支援という方が6名以上入っております。今現在平均介護度数というのは2.0位です。経営ということから考えると大変厳しい事業である。立ち上げの第一段階はかしの木なんです、第二段目は一期一会、2棟目の建物はこの中によしの木というのが入っております。3棟目は一期一会の中のせんの木ということで現在3棟運営させて頂いておりますが、かしの木というのは何をやっているかという、第一棟目に付きましては一般型特定施設入居者生活介護事業所ということになります。65歳以上の人であればどなたでも入所出来ます。健全者でもOKです。二棟目は小規模多機能型居宅介護事業所という名前になります。通いを中心としたサービスになります。通ってきて下さいと、その中においては泊まりでもOKですと、訪問介護もさせて頂いております。但しこれを利用できる方に付きましては介護保険の認定を受けている方でないと二棟目、三棟目につきましては利用出来ません。この部分によしの木、せんの木という共同住宅型の建物を

併設させております。つまり共同住宅に入って頂く、自分の住まいですよというところから一期一会の方に距離にしては2、3mなんですけど通って頂きそこで介護サービスを受けるという形になっております。基本理念というのは冒頭についているかと思いますが、手前どもの基本理念、基本方針はこちらに記載の通りです。理念と致しましては「住み慣れた地域の中で、共に幸せに暮らすこと」です。その中身をもう少し詳しく説明致しますと、共にというのは「家族」を意味しております。家族と共にそして幸せにとは「尊厳」を意味しております。暮らすというのは暮らして頂く為に私達職員一同、どのように対応していけば良いかということで、私共の先人が今日道を開いてくれたこのお年寄りというのを、やはり一にも二にも大切にしていかななくてはならないのが、私共かしの木の役目なんだと思っております。これからかしの木の現況をDVDに映してありますので、これをご覧頂きたいと思っております。

地元のお年寄り皆さんが共に安心してこの地域で暮らせるそんな社会、さらには施設を目指して参りたいと思っております。

■ その他報告

- **パークゴルフ同好会**……………**奈良会員**
パークゴルフの第1回目の例会が5月26日(土)に開催されますので、沢山の方の参加をお願い致します。本年は全部で10回3クラブの親睦交流パークゴルフを合わせて11回という回数になっています。全て土曜日の12時スタートという形で解りやすくしましたので、日程をつけて頂いて参加の方宜しくお願い致します。